

シーセイフ コンテナ 容量 積込対応 その他

RKNコンテナ

4

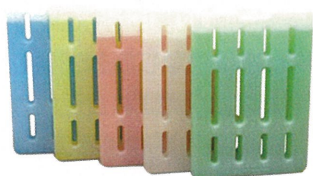


エ アカーゴ用温度管理コンテナの米大手リース業者シーセイフ (CSafe Global) の温度管理コンテナ“AcuTemp RKN”。アクティブ型のコンテナで温冷両方の機能を備える。-30℃~+49℃の外気にさらされても+4℃~+25℃の温度を最大100時間維持することができるという。このほかにも+2℃~+30℃の温度設定で、130リットルの容量を持つばら積み対応の“AcuTemp SVS”もラインアップしている。

アイ・ティ・イー コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

アイスバッテリー

7



▲ANAの“PRIO IB”

ア イ・ティ・イー社が開発した機能保冷材“アイスバッテリー”。特殊なコールドジェルが入っているプラスチックプレートで、-25℃~+25℃の範囲で自由に温度調整が可能。ドライアイスなどと比較して温度や湿度、鮮度などをより長く安定して維持できるのが特徴。ANA Cargoも新サービスPRIO IBで使用している(右上写真、本誌7頁参照)。

日通 コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

潜熱蓄熱材

5



日 本通運の温度管理輸送サービス“TempSure”の新商品に使用される潜熱蓄熱材。ULDを特殊断熱材と潜熱蓄熱材で包むことで、外気温の影響を受ける貨物地区から航空機への移動や搭載待機時などの温度変化を最小限に抑えることができる。



JAL コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

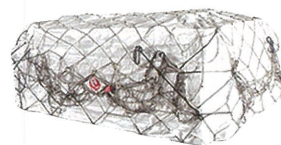
サーマルブランケット

6

特 断熱材を使用したJALの航空輸送用保温カバー。コンテナ/LD7パレットの2タイプを設定。凍結、高温を防ぎ、航空機への貨物搭載時の急激な温度変化を抑制する。また、100%高密度ポリエチレン(HDPE)を原料とする不織布を使用した特殊カバーも設定している。



▲写真左上がLD7パレットタイプ、右がLD3コンテナタイプのサーマルブランケット



▲急激な温度変化を抑制する特殊カバー

日通 コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

定温マルチBOX II

FedEx コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

SenseAware

9

容 器内を-30℃~-20℃、+2℃~+8℃、+15℃~+25℃の3温度帯に保つことが可能で、S・M・Lの3サイズを設定する。温度管理トレーサーによる輸送中の温度経過記録と容器内温度の可視化サービスもオプションで付加できる。



フ エドラルエクスプレス(FedEx)のヘルスケア業界向け輸送ソリューションの“SenseAware(センスアウェア)”。複数のセンサーを搭載した小型機器とウェブベースのアプリケーションを組み合わせ、温度を一定に保つほか、貨物をリアルタイムでモニターできる。日本では導入準備中。



平野ロジスティクス コンテナ 容量 蓄熱材 保冷剤 その他

96コンテナ搭載可能空調車

10

9 6サイズコンテナ搭載可能な温調トラック。ULD96、88サイズパレット×3枚、LD3コンテナ×6個を搭載でき、温度設定は+5℃~+20℃。医薬品関連輸送で需要があるほか、精密機械、半導体関連輸送などにも使用される。貨物量に応じて搭載スペース内で断熱仕切り板を活用し、保冷・常温を分割し、使い分けることが可能で、一般貨物との混載便としても利用できるのも特徴だ。



特集 ● 花形貨物、医薬品、輸送の品質競争、物流業界